

2026年度 一般選抜Ⅰ期

〔英語〕

＜解答例＞

問1：③

問2：②

問3：draw the winning character on a giant sheet of paper.

問4：④

問5：①

問6：この毎年恒例のイベントは、日本漢字能力検定協会が主催し、一般から候補文字を募集しています。

問7：③

問8：④

問9：①

問10：【自由記述であるため、特定の解答はなし。】

＊ただし、クマ問題についての見解を聞いているので、そこから大きく外れる解答の場合は減点。

＜配点：計50点＞

問1：3点

問2：3点

問3：8点

問4：3点

問5：5点

問6：8点

問7：3点

問8：3点

問9：6点

問10：8点

＜出題のねらい＞

2025年、ニュースでしばしばクマ問題が取り上げられ、日本各地でクマにより被害も相次いで起こりました。クマと人間の共存は可能なのか。今や、クマ問題は日本における深刻な社会問題に発展しており、今回は皆さんとそれに関して考えたいという思いから出題しました。

出題文の内容全体を把握することができるか、高校までに学習している基本的な英文法を使用することができるか、自分の考えを論理的にまとめることができるか、といった総合力をはかることに主眼を置いております。

〔国語〕

＜解答例＞

【1】

- (1) (あ) 尋 (ねる) (い) 陰／翳 (り) (う) 実証
 (え) 発揮 (お) 人道
(2) (ア) おてん (イ) ぞうふく (ウ) つと (める)
 (エ) ばくろ (オ) いとな (み)
(3) 【Ⅰ】① 【Ⅱ】③ 【Ⅲ】②
(4) (略)
(5) (略)
(6) (略)
(7) (略)

【2】

- (1) ア
(2) ア
(3) ① ア ② イ ③ イ

＜配点：計50点＞

【1】

- (1) 5問×各2点＝10点
(2) 5問×各1点＝5点
(3) 3問×各1点＝3点
(4) 5点
(5) 5点
(6) 6点
(7) 6点

【2】

5問×各2点＝10点

＜出題のねらい＞

「マスメディア」についての論考を取り上げました。
漢字の読み書きについてです。いずれも、頻繁に使用される語句です。日頃の学習の際に、漢字の正確な読み書きを意識するようにしてください。
文章の内容については、もちろん一文ごとの意味を精確に把握しようとすることは大切なのですが、あわせて、①文と文のつながり方・関係、②文章を全体として見たとき、その内部構成がどうなっているのか、③文章全体としての趣旨はどのようなものになるのか、といった点などを意識するようにしてください。

＜出典＞

「情報過多時代の世論と報道」法学セミナー845号（2025年）46・47頁
ただし、出題のために、一部、改変を行っている箇所がある。

〔小論文〕
＜解答例＞
(略)

＜配点：計50点＞

＜採点基準＞

解答について、以下の採点基準に基づいて評価する。

採点基準①：設問に対する解答となっているか

採点基準②：自分の立場を具体的かつ明確に示しているか

採点基準③：そのように考える理由・根拠を具体的かつ明確に示しているか

採点基準④：文章が論理的であるか

※ 誤字・脱字等については、減点の対象とする。

＜出題のねらい＞

「デジタル教科書」に関する新聞記事を読んだうえで、自身の意見を論じる、という出題です。比較的、身近な話題だと思いますが、要領よく、自身の意見とその理由づけを整理し、論述を行う必要があります。問に対する結論だけでなく、その理由付けがより説得的なものとなるようにするためにも、幅広く社会問題への関心を持っておくことが有効になります。

〔公民（公共）〕

<解答例>

【1】

- (1) ライフ (2) ③ (3) 資金 (4) 助成 (5) ①
(6) 【Ⅰ】ア 【Ⅱ】ウ 【Ⅲ】イ 【Ⅳ】エ
(7) (ア) い (イ) あ (ウ) う

【2】

- (1) ③ (2) C I S

【3】

- (1) ③ (2) ダイバーシティ (3) 12
(4) 団塊 (5) ② (6) ③

【3】

- (1) ① (2) モラトリアム (3) ① (4) ① (5) 通過

<配点：計50点>

25問×2点＝50点

<出題のねらい>

各領域から比較的満遍なく出題しました。問題意識をもちながら、知識の吸収に努めてください。